



日独交流160周年
Jahre Freundschaft
Deutschland-Japan

グローバルユース防災サミット報告書

Global Youth BOSAI Summit

2021年10月30日(土)18:00~19:30 (ドイツ時間同日11:00~12:30)

18:00~19:30 (Time in Japan), 11:00~12:30 (Time in Germany) Saturday, 30 October, 2021



GLOBAL
YOUTH
BOSAI
SUMMIT

グローバルユース防災サミット事業概要

近年、地球温暖化の影響などにより世界中で異常気象・気象災害が発生しています。人間の予測、想定を超える災害に立ち向かい、持続可能な社会を実現することは世界共通の課題であり、災害大国であるわが国が世界に果たす役割はますます重要になっています。

「グローバルユース防災サミット」は、大阪・関西をはじめ、日本各地で防災に取り組む若者が、地域的視点と世界的視点の双方から「世界的共助」の進展と「災害に強い未来社会」の実現をめざす初めての試みとして開催いたしました。

大阪市の姉妹都市として長年にわたる交流の歴史を持つドイツ・ハンブルク市の青少年消防団の皆様をパートナーにお迎えし、互いの国や街における災害の歴史や教訓を学び合い、防災の現状と未来像を共有し、宣言として世界に向けて発信いたしました。

「つながろう世界と まもろう未来を」をスローガンに掲げ、次代を担う若者が 2025 年の大阪・関西万博へ、そしてその先の未来に向かって「防災（BOSAI）」を合言葉に今後も引き続き世界をつないでいきます。

- [日時] 2021年10月30日（土）日本時間 18:00-19:30（ドイツ時間同日 11:00-12:30）
- [会場] 大阪会場：あべのハルカス 25 階 会議室 A/B
オンライン会場：ZOOM 会議室
- [目的] 大阪・関西をはじめ、日本各地で防災に取り組む若者が地域的視点と世界的視点に立ち、EXPO2025、そしてその先の未来に向かって「災害に強い社会」を実現する。
- [スローガン] 「つながろう世界と まもろう未来を」
- [参加者] 日本とドイツで防災に携わる青少年等 83 名
日本側参加者 69 名
大阪を中心に全国で防災に取り組む小中高生、大学生、院生、社会人 33 名
一般（防災専門家、研究者、ドイツ総領事館、大阪市、協賛協力企業ほか）36 名
ドイツ側参加者 14 名
ハンブルク市青少年消防団員 12 名
一般（日本総領事館、ハンブルク市議会）2 名
- [主催] グローバルユース防災サミット実行委員会
(構成団体：ママコミュ！ドットコム、チーム U15 防災、I×B ラボ、大阪防災プロジェクト)
- [後援] 大阪市、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
- [協力] 一般社団法人大阪日独協会、大阪市青少年国際交流協議会、
大阪市立大学都市防災教育研究センター、大阪市立水都国際中学校防災部、
大阪 SGG クラブ(善意通訳団体)、DZGO(ディースゴー株式会社)、大阪サンフランシスコ会、PAPARA
- [協賛] 田中手帳株式会社、有限会社かながわ軒茶舗、株式会社モリタホールディングス

内 容

日本時間（ドイツ時間）

18:00（11:00）開会

主催者挨拶

日独メンバー紹介

来賓紹介

- ・大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事
- ・駐ハンブルク日本総領事
- ・大阪市経済戦略局 立地推進交流部 部長
- ・（公財）三菱 UFJ 国際財団 理事・事務局長
- ・（一社）大阪日独協会 常務理事
- ・大阪 SGG クラブ 会長
- ・（公社）2025 年日本国際博覧会協会 課長代理
- ・（株）モリタホールディングス

Martin Eberts 様

加藤 喜久子 様

鳥山 孝之 様

大山 哲 様

和田 展子 様

舟引 康之 様

平野 いずみ 様

森田 今日子 様、長谷川 実咲 様、

山田 明知 様、清水 範子 様

祝辞

- ・大阪市長
- ・大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事
- ・駐ハンブルク日本総領事
- ・ハンブルク市議会 議長
- ・大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授
大阪市立大学都市防災教育研究センター 副所長
- ・（一財）大阪市コミュニティ協会
都市コミュニティ研究室 室長

松井 一郎 様（メッセージ）

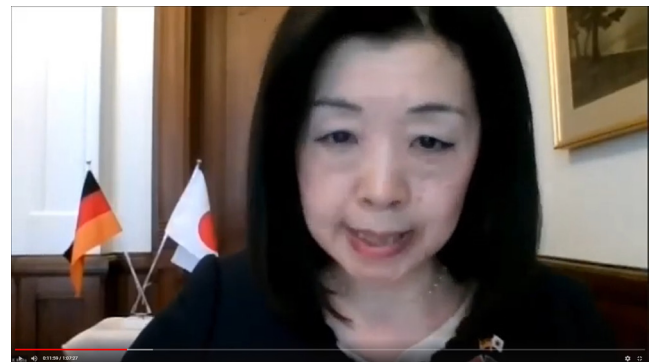
Martin Eberts 様（映像）

加藤 喜久子 様

Carola Veit 様（映像）

生田 英輔 様（メッセージ）

大船 一美 様（メッセージ）



18:15 (11:15) 日本側プレゼンテーション

「災害大国日本の現状」と「わが国に伝わる災害の教訓」について



18:30 (11:30) ドイツ側プレゼンテーション

「ドイツの災害の歴史」と「ハンブルク市青少年消防団の活動」について



18:45 (11:45) 交流タイムとお土産の交換

- ・プレゼンテーション「グミ外交」大阪市立水都国際中学校防災部
- ・ショートムービー「私たちが災害から守りたいもの」大阪防災プロジェクト



19:00(12:00) グループディスカッション「私たちはなぜ防災に取り組むのか」

グループに分かれて意見交換

19:15(12:15) グループ発表・共有

19:25(12:25) グローバルユース防災サミット宣言

私たちの夢は、「災害のない未来社会」をつくることです。私たちの大切な人や物、暮らしを災害から奪われることなく、すべての人が安心して幸せに暮らせる社会を実現したいと願っています。

このサミットでは、日本とドイツの仲間が互いを理解し、共に支え合うことの大切さを学びました。また、過去の災害から学んだ教訓や経験を共有し、次の世代、その次の世代へと繋げていくことが私たちユース世代の役割であるということも確認しました。

このサミットを機に、私たちは「災害のない未来社会」をつくるため、3つのアクションに取り組みます。

- 1 防災に取り組む世界中の若者のネットワークを構築し、互いを支え合います。
- 2 ローカルとグローバルの両方の視点から、災害と防災の理解を深め、防災の推進役としての知識と実践力を身につけます。
- 3 現在の防災が抱える課題に向き合い、具体的な解決策を考え、実行します。

2021年10月30日

グローバルユース防災サミット参加者を代表し、ここに宣言します。

Unser Traum ist es, eine "Gesellschaft der Zukunft, frei von Katastrophen" zu schaffen. Wir hoffen, eine Gesellschaft verwirklichen zu können, in der jeder glücklich und sicher leben kann, ohne Angst haben zu müssen, Familie, Mitmenschen und Güter durch Katastrophen zu verlieren.

Auf diesem Gipfel haben wir gelernt, wie wichtig es ist, dass Japan und Deutschland sich miteinander verständigen und gegenseitig unterstützen. Wir tauschen Lehren und Erfahrungen aus vergangenen Katastrophen aus und sind davon überzeugt, dass es die Rolle der Jugendgeneration ist, diese Erfahrungen und Lehren an die folgenden Generationen weiterzugeben.

Wir werden die Gelegenheit dieses Gipfels heute nutzen, um drei Maßnahmen zu ergreifen, die uns helfen werden, eine Gesellschaft ohne Katastrophen zu ermöglichen.

1. Wir werden ein Netzwerk von jungen Menschen auf der ganzen Welt aufbauen, die an der Katastrophenprävention arbeiten und sich gegenseitig unterstützen.
2. Wir werden die Lehren aus beidem- der Katastrophenprävention und bisherigen lokalen und globalen Katastrophen- vertiefen, um unser Wissen und künftige Initiativen auszubauen.
3. Wir werden uns den aktuellen Fragen der Katastrophenprävention stellen, über konkrete Lösungen nachdenken und diese umsetzen.

heute ist der 30ste Oktober, 2021

wir repräsentieren das Welt-Jugend-Katastrophenpräventions-Team und deklarieren hiermit die eben genannten Ziele.

【DZGO 様のご指導により、ドイツ語で作成、大阪市立水都国際中学校防災部が発表】

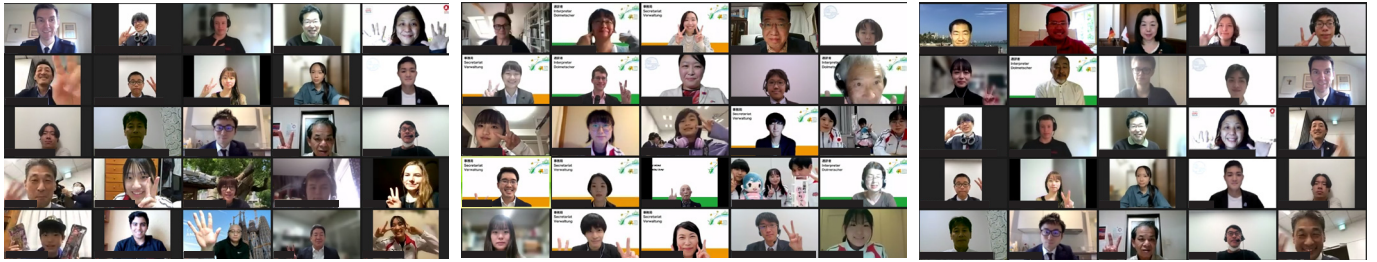
19:30(12:30) 閉会

閉会によせて

・大阪市経済戦略局 立地推進交流部 部長 鳥山 孝之 様



記念撮影



「つながろう世界と まもろう未来を」をスローガンに掲げ、次代を担うユースたちが自国自都市の防災の現状や課題を見つめ、「災害に強い未来」の実現に向けて開催いたしました。

世界規模のコロナ禍で直接訪問が叶わず、時差の関係もあり、限られた時間となりましたが、半年前より自国における防災の取り組みについて調査し、オンラインを介して発表し合うことで相互理解がより深まりました。

今回の「グローバルユース防災サミット」を通して、ユースそれぞれの心の中に今後の活動につながるパートナーシップが芽生えたことと思います。ユースの活動を支える大人たちを含む 83 名が BOSAI を合言葉に出会い、学び合い、共に「世界的共助」という大きなテーマに向かって一步を踏み出すことができました。

本サミット開催にあたり、準備段階からお力をお貸しくださいました全ての皆様に心から御礼申し上げます。



グローバルユース防災サミット実行委員会一同

